

公益社団法人日本地震工学会 第50回理事会議事録

A.日時：2021年3月19日（金） 16時00分～19時47分

B.場所：ZOOMによるオンライン会議

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）山中浩明，山田 哲，秋山充良

（担当理事）徳光亮一，米澤健次，松岡太一，樋口俊一，隈本邦彦，久保智弘，

永野正行，清田 隆，小檜山雅之，松島信一，丸山喜久，肥田剛典

（監事） 久田嘉章，三輪 滋

オブザーバ出席：清野純史次期会長，小松康典事務局長，戸田薫子事務局員

D.議題および提出資料：

議題

報告事項

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1) 第49回理事会議事録（案）の確認（米澤理事） | 資料 50-01 |
| 2) 総務・会計部会，第19回拡大正副会長会議報告（徳光理事） | 資料 50-02 |
| 3) 会務報告（徳光理事） | 資料 50-03 |
| 4) 広報部会からの報告（隈本理事） | 資料 50-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 50-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 50-06 |
| 7) 国際委員会，地震災害対応委員会からの報告（清田理事） | 資料 50-07 |
| 8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 50-08 |
| 9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事） | 資料 50-09 |
| 10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長） | （資料なし） |
| 11) 将来構想委員会からの報告（山中副会長） | 資料 50-11 |
| 12) 防災学術連携体臨時総会の開催報告（樋口理事） | 資料 50-12 |
| 13) メール審議（8件）結果報告（徳光理事） | 資料 50-13 |

議案

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者・会費未納入者（米澤理事，松岡理事） | 資料 50-14 |
| 第2号 役員候補推薦委員会2021年度委員について（徳光理事） | 資料 50-15 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（米澤理事） | 資料 50-16 |
| 第4号 令和3年度事業計画（案）（米澤理事） | 資料 50-17 |
| 第5号 令和3年度収支予算書（案）（松岡理事，樋口理事） | 資料 50-18 |
| 第6号 今年度の表彰について | |
| (6-1) 功績賞（徳光理事） | 資料 50-19 |
| (6-2) 功労賞（徳光理事） | 資料 50-20 |
| (6-3) 名誉会員（徳光理事） | 資料 50-21 |
| (6-4) 論文賞（秋山副会長） | 資料 50-22 |
| (6-5) 論文奨励賞（小檜山理事） | 資料 50-23 |
| 第7号 研究委員会の設置期間の延長について（2件）（秋山副会長） | 資料 50-24 |

懇談事項

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1) JAEE20周年記念事業・社員総会（秋山副会長・徳光理事） | 資料 50-25 |
| 2) 令和2年度事業報告（案）について（徳光理事） | 資料 50-26 |
| 3) 新理事の候補者について（徳光理事） | 資料 50-27 |
| 4) 投稿規程の改定について（小檜山理事） | 資料 50-28 |
| 5) 第16回地震工学シンポジウムについて（中埜会長） | （資料なし） |
| 6) 今後の予定について（徳光理事） | 資料 50-30 |

E.議事録：

議題

報告事項

- 1) 第49回理事会議事録（案）確認（米澤理事）
 - ・ 米澤理事より資料 50-01 に基づいて第49回理事会議事録の確認が行われ、特に修正事項はなく承認された。
- 2) 総務・会計部会，第19回拡大正副会長会議報告（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 50-02 に基づいて総務・会計部会，および第19回正副会長会議について議事録を基に報告が行われ、特に異議はなく承認された。
- 3) 会務報告（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 50-03 に基づいて会務報告がなされた。
 - ・ 修正追加があれば本理事会終了までに報告することにしたが、特に修正追記の申し出はなく、承認された。
- 4) 広報部会からの報告（隈本理事）
 - ・ 隈本理事より資料 50-04 に基づいて広報部会からの報告について説明があった。2021年3月に発行された「日本地震工学会誌第42号」を、気象庁，文部科学省，国土交通省の記者クラブに投函・送付した旨の報告があった。
 - ・ 特に問題なく遂行できたとの報告があり、特に異議はなく承認された。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 50-05 に基づいて情報コミュニケーション委員会からの報告について説明がなされた。特に問題なく承認された。
 - ・ アーカイブ化は、まずは会員限定で来年度中に公開する予定である旨の報告があった。公開する資料は、販売しているものは公開せず、それ以外のものと日本地震工学会シンポジウムに関係するものを公開することが報告された。
 - ・ アーカイブ資料の公開はできるだけ早く行った方が良いので先行できるものから公開する。公開状況は社員総会で紹介できると良いとの意見があった。
 - ・ アーカイブ資料については、会員以外にはタイトルだけ見せるなど、会員を増やすためにそのようなことも考えると良いとの意見があった。⇒今後検討するとの回答があった。
- 6) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料 50-06 に基づいて会誌編集委員会からの報告がなされた。特に異議はなく承認された。
- 7) 国際委員会，地震災害対応委員会からの報告（清田理事）
 - ・ 清田理事より資料 50-07 に基づいて国際委員会，地震災害対応委員会からの報告がなされた。地震への対応，ニュースレター英文記事，英文ウェブページなどについて報告された。特に異

議なく承認された。

8) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 50-08 に基づいて論文集編集委員会からの報告がなされた。
- ・ 英文オリジナル論文の投稿について掲載料を課す案の経緯、執筆要領の見直し作業、Scholar One システム画面の修正、事務局の後任、査読状況、および発刊予定などについて報告された。
- ・ 研究データの捏造・改ざん予防策や審査上の対策の検討は継続して議論する旨の報告があり、研究データの捏造・改ざんに対する予防策について、良いアイデアがあれば、お知らせいただきたい旨の依頼があった。
- ・ 厳格化し過ぎると投稿自体が減ってしまう可能性もあるので、バランスが重要であるとの意見があった。
- ・ 捏造・改ざん予防策として、データの提供を求め、査読者がそのデータを吟味するなどは、査読者の負担がかなり増え、現実的ではないとの意見があった。
- ・ 著者の担当内容などを明記してもらう案も考えられるとの意見があった。
- ・ 投稿の際に、「疑義があった場合、求められればデータを提供できるのか」を著者に確認する案も考えられるとの意見があった。

9) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事）

- ・ 丸山理事より資料 50-09 に基づいて事業企画委員会（企画）からの報告がなされた。講習会の参加者を多く見込めるようにするため、オンライン講習会（5/11 実施）の参加費を減額することについて審議の依頼があった。参加費減額については特に異議はなく承認された。
- ・ 講習会は何度も視聴できるようにした方が良いとの意見があった。⇒ 今回はできないが、評判が良ければ継続したいので、次回以降に反映させたいとの回答があった。
- ・ 講演タイトルに「AI」や「ディープラーニング」などのキーワードを入れた方が良いとの意見があった。⇒ 講演者と協議して決める旨の回答があった。

10) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長）

- ・ 中埜会長より 17WCEE 運営委員会について共有画面に基づき口頭で以下の報告がなされた。特に異議などはなかった。
- ・ フルペーパー投稿を3月31日締め切りで受け付け中である。
- ・ 発表プログラムを準備中であり、IAEE とも調整しながら事前ビデオも並行で準備している。
- ・ OS はリアルタイムでのディスカッションを可能な限り重視し、時間を含めオーガナイズの可能性をヒアリング調整中。
- ・ ポスターは原則オンライン、オーラルは現地＋事前ビデオ登録で実施する予定である。

11) 将来構想委員会からの報告（山中副会長）

- ・ 山中副会長より資料 50-11 に基づいて、2/4 に開催された第4回将来像検討WGについて報告がなされた。
- ・ 次回WGは4/7の午前の開催を予定している。興味のある理事の方は是非とも参加いただきたい旨の依頼があった。参加を希望される理事の方は、山中副会長に連絡することになった。
- ・ 20周年記念式典のPD開催について、WGメンバーに快諾いただいた旨の報告があった。

12) 防災学術連携体臨時総会の開催報告（樋口理事）

- ・ 樋口理事より資料 50-12 に基づいて、防災学術連携体臨時総会について報告がなされた。活動が本格化するにつれて、任意団体であることの限界が見られることから「防災学術連携体」を解散し、「一般社団法人 防災学術連携体」を発足される旨の報告があった。

13) メール審議（8件）結果報告（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 50-13 に基づいて、メール審議（8件）結果について報告がなされた。メール

審議は、いずれも反対意見はなく承認されたことが報告された。しかし、共催・後援・協賛等に関わる手続きの迅速化、会員への支払い基準の明確化について意見があり、徳光理事より以下の対応案が提案なされた。

- ・ 共催・後援・協賛等に関わる手続きの迅速化の対応案として、「共催・後援・協賛に関する細則」を改定し、過去に共催・後援・協賛の依頼実績があり、事前に会長の承認を受けた団体に限り、会長または総務理事の判断で承認できるように改定(改定案6条)する案が挙げられた。
- ・ 会員への支払い基準の明確化の対応案として、謝金の支払いに関する明確な判断基準を設定するのが難しいため、当面は謝金支払い実績を記録し、将来の謝金支払いを判断する上での参考とするとの案が挙げられた。
- ・ 費用負担のある共催については注意を要するとの意見があった。⇒検討するとの回答があった。
- ・ 一律に過去に共催・後援・協賛の依頼実績がある場合とするのではなく、建築学会、土木学会、地盤工学会、機械学会、地震学会の5学会に限るように方が良いとの意見があった。⇒当面は5学会に限るようにするとの回答があった。
- ・ 対応案については次回理事会で審議することになった。

議案

第1号 入退会者・会費未納入者(米澤理事)

- ・ 米澤理事より資料50-14に基づいて入退会者および会費未納入者の報告がなされた。特に異議なく承認された。
- ・ 資料50-14-5に記載された会費未納会員の中に知り合いがいたらお声がけいただきたいとの依頼があった。
- ・ 法人会員の勧誘については、コロナ禍で収益が悪化しているところが多いので、しばらく様子をみたいとの意見があった。

第2号 役員候補推薦委員会2021年度委員について(徳光理事)

- ・ 徳光理事より、資料50-15に基づいて、役員候補推薦委員会の2021年度委員について報告がなされた。本理事会で承認が得られた後、社員総会で審議された後に承認を得ることの報告がなされた。本理事会では、役員候補推薦委員会2021年度委員については異議なく承認された。

第3号 共催・後援・協賛等(米澤理事)

- ・ 米澤理事より資料50-16に基づき後援2件、協賛1件の審議について依頼があることが報告され、いずれも異議なく承認された。

第4号 令和3年度事業計画(案)(米澤理事)

- ・ 米澤理事より資料50-17に基づき令和3年度事業計画(案)について説明がなされた。本事業計画(案)は、本理事会で承認が得られ次第、3月末に次年度予算計画と含めて内閣府に提出することの説明があった。
- ・ 第16回日本地震工学シンポジウム開催の準備を開始することを記載した方が良いとの意見があり、その旨を追記することになった。
- ・ 「アーカイブ情報発信の検討」は「アーカイブ情報発信方法の検討」に具体的に記載した方が良いとの指摘があり、その旨を修正することになった。
- ・ 資料50-17の令和3年度事業計画(案)は、上記の追記・修正を行うこととし、その他は特に異議がなく承認された。

第5号 令和3年度収支予算書(案)(松岡理事、樋口理事)

- ・ 松岡理事より資料50-18に基づき令和3年度収支予算書(案)について説明がなされた。2021年度正味財産増減計算書内訳資料の公益目的事業会計の当期経常増減額は、1,949,941円のプ

ラスとなり収支相償をクリアできていないが、17WCEE、ESG6の大型イベントの収支については不透明な点が多々あるため当該イベントの収支が確定（2021年秋頃）した時点で収支相償の見直しを確認して対応を検討する旨が報告された。令和3年度収支予算書（案）について、特に異議はなく承認された。

第6号 今年度の表彰について

- ・ 徳光理事より資料 50-19 に基づき令和2年度の功績賞の候補について説明がなされた。今年度の功績賞は北川先生と國生先生の2名を推薦することの説明がなされた。本理事会において、上記候補者2名の功績賞の授賞が承認された。推薦文の修正案については、北川先生については中埜会長、國生先生については清田理事が確認することになった。
- ・ 徳光理事より資料 50-20 に基づき令和2年度の功労賞の候補について説明がなされた。今年度の功労賞は、昨年度総務理事を務めた中村氏、WCEEで津波のブラインドコンテストに貢献された中央大学の有川氏と電力中央研究所の木原氏、計3名を推薦することの説明があった。本理事会において、上記候補者3名の功績賞の授賞が承認された。
- ・ 徳光理事より資料 50-21 に基づき令和2年度の名誉会員の候補について説明がなされた。選考基準としては、65歳以上で、これまでJAEEの理事等を務められた方とし、今年度の名誉会員は、芳村先生、北村先生、武村先生、小長井先生の4名を推薦することの説明があった。本理事会においては上記候補者4名の名誉会員が承認された。名誉会員については、最終的には社員総会で諮り、最終決定することが報告された。
- ・ 秋山副会長より資料 50-22 に基づき令和2年度の論文賞の候補について説明がなされた。論文賞選考委員会において論文賞細則に基づいて選考した結果、引田氏等の「伝播経路特性・震源特性の空間変動を考慮した経験的地震動予測モデル」の1編を推薦することの説明があった。本理事会において、上記候補者1名の論文賞の授賞が承認された。
- ・ 小檜山理事より資料 50-23 に基づき令和2年度の論文奨励賞の候補について説明がなされた。選考は論集編集委員会（委員長：小檜山理事）で行われ、論文奨励賞細則に基づき、井上和真氏（群馬工業高等専門学校）と杉山充樹氏（名古屋大学）の2名を推薦することの説明があった。本理事会において、上記候補者2名の論文奨励賞の授賞が承認された。

第7号 研究委員会の設置期間の延長について（2件）

- ・ 秋山副会長より資料 50-24 に基づき研究委員会の設置期間の延長について説明がなされた。「強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会」と「津波荷重の評価技術と体系化の心得に関する研究委員会」より1年の延長願いがあったことの報告があった。2件の委員会の延長については特に異議なく承認された。

懇談事項

1) JAEE20周年記念事業・社員総会（秋山副会長・徳光理事）

- ・ 徳光理事と秋山副会長より資料 50-25-00 に基づき、社員総会、表彰式、20周年記念事業のスケジュール案について説明がなされ、丸山理事より資料 50-25-01 に基づいて、JAEE20周年記念事業について説明がなされ、開催形式、懇親会の開催、式典の内容と役割分担、および来賓・会員へのメールなどについての懸案事項が挙げられた。また、秋山副会長より資料 50-25-4 を基に、製作された記念誌について説明があった。
- ・ 開催形式はハイブリッド（対面＋オンライン）にすることになった。対面は関係者のみとし、一般の会員にはオンラインで参加いただくことになった。
- ・ 懇親会は開催しないことになり、会場はキャンセルすることになった。
- ・ 式典の時間変更に関しては、まずは記念講演者の都合を確認することになった。講演者の都合

によっては、オンラインでの講演も選択肢に入れて良いと判断があった。講演者の都合が合えば、本スケジュール案で進めることになった。

- ・ 司会は総務理事が務めることとして、徳光理事と米澤理事で調整することになった。
- ・ 「開会の辞」は日本地震工学会会長挨拶の流れを勘案し、中埜会長が行うことになった。「閉会の辞」は山田副会長が行うことになった。
- ・ 配信業務は、外注するのではなく、隈本理事に協力していただき実施する方向で検討することになった。詳細は隈本理事を含め関係者で検討することになった。
- ・ 来賓の方には、対面参加か、オンライン参加かをお知らせいただくことになった。
- ・ 記念誌に関しては、確認いただき、修正などある場合は GW 前までに秋山副会長に連絡することになった。

2) 令和2年度事業報告(案)について(徳光理事)

- ・ 徳光理事より資料 50-26 に基づき、令和2年度事業報告(案)について説明がなされた。本資料は社員総会で諮ることになることが報告された。
- ・ 各理事に担当の項目やトピックスなどを確認してもらい、修正追記があれば、後程、徳光理事に連絡いただきたいとの依頼があった。修正追記やコメントがない場合も、回答を徳光理事に連絡することになった。

3) 新理事の候補者について(徳光理事)

- ・ 徳光理事より資料 50-27 に基づき、新理事の候補者について説明があった。資料 50-27 の記載に誤りがないか確認していただきたいとの依頼があった。
- ・ 池田隆明理事候補の分野は、「土木」ではなく「地盤」に修正する。
- ・ 鳥澤一晃理事候補の分野は、本人に確認することになった。

4) 投稿規程の改定について(小檜山理事)

- ・ 小檜山理事より、資料 50-28 に基づき、投稿規程の改定について説明がなされた。
- ・ 英文オリジナル論文に関しては掲載料を課すように改定する旨の提案があった。本提案に対して、本理事会では特に異議はなかったが、次回理事会で議案として諮ることになった。

5) 第16回地震工学シンポジウムについて(中埜会長)

- ・ 中埜会長より、第16回日本地震工学シンポジウムの開催について、例年だと2022年に開催することになるが、WCEEが1年延長になった影響で、マンパワーも不足するため第16回地震工学シンポジウムも1年延期するとの提案があった。本シンポジウムを1年延期する案は、特に異議はなく承認された。来年度事業計画に本シンポジウムの開催準備を開始する旨を記載することになった。

6) 今後の予定について(徳光理事)

- ・ 徳光理事より、資料 50-30 に基づいて、今後の予定について説明がなされた。令和3年度事業計画・予算および本理事会議事録は3月中に内閣府に提出するため、修正、追記等があれば、3/25までに令和3年度事業計画・予算に関しては総務理事、事務局に、議事録に関しては全理事・監事宛に連絡を頂きたい旨の依頼があった。

次回予定：第51回理事会 4月20日(火)16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和3年 3月 29日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋